

28. 経営管理教育部

(分析項目Ⅰ 教育活動の状況 76)

(分析項目Ⅱ 教育成果の状況 76)

分析項目Ⅰ 教育活動の状況

〔判定〕 相応の質にある

〔判断理由〕

教育活動の基本的な質を実現している。

〔特色ある点〕

- 業務を継続しながら授業と論文執筆に取り組むので、授業時間の設定や場所については、非常にフレキシブルに対応することとしている。例えば、東京で勤務を続ける学生に対しては、教員が出張した際に京都大学東京オフィスで授業を行うなどの配慮もしている。
- 経営科学専攻は、グローバル・ビジネス・リーダーとしての高度専門職業人博士の養成を行い「博士（経営科学）」の学位を授与するものであり、既に修士または専門職学位を取得し、実務経験を有する高度経営専門職業人を対象とした選抜を行っていることが大きな特徴である。その選抜においては、高度な実務経験を通して醸成したビジネスに関する問題意識をベースにした研究課題・研究計画を有していることを最重要視している。これは、他にない大きな特徴となっている。開設後4年間ともに、入学希望者も一定倍率で確保できている。

分析項目Ⅱ 教育成果の状況

〔判定〕 相応の質にある

〔判断理由〕

現況分析単位の目的に沿った基本的な教育成果が認められる。